

2020年3月期第2四半期 決算説明会



Money Partners Group

株式会社マネーパートナーズグループ



本資料は、株式会社マネーパートナーズグループの事業及び業界動向についての株式会社マネーパートナーズグループによる現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確実性がつきまっています。

既に知られたもしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。

株式会社マネーパートナーズグループは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2019年11月1日現在において利用可能な情報に基づいて、株式会社マネーパートナーズグループにより2019年11月1日現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。



- I .2020年3月期第2四半期の決算及び事業の概況
- II .2020年3月期第2四半期の重点施策の進捗状況
- III .今後の目指すべき方向性
- IV .当社の経営目標及び株主還元について

I .2020年3月期第2四半期の決算及び事業の概況





2020年3月期第2四半期(2019/7-9) 連結決算の総括とポイント

- ① FX口座数は、前四半期末比3,201口座増加とレンジ相場の影響を受け増加ペースは鈍化。預り証拠金は、金融法人からの預りが大幅に減少したことから全体では1.8%の減少に。

総口座数	336,996口座	2020/3期1Q末比	1.0%増
預り証拠金	63,293百万円	2020/3期1Q末比	1.8%減

- ② 外国為替取引高は、外国為替相場の変動率が前四半期から持ち直したことを受け増加。

7-9月取引高	2,646億通貨単位	2019/4-6月比	18.0%増
---------	------------	------------	--------

※取引高にはCFDに関する数値を米ドルに換算した上で含めております。

- ③ 営業収益は、外国為替取引高の増加を受け主力のトレーディング損益が10.9%増加し、前四半期比6.9%増加の1,396百万円に。

- ④ 経常利益は、外国為替取引高減少に伴う変動費の増加やコイネージ株の費用が加わったこと等から販管費が5.5%増加したものの、前四半期比107.2%増加の124百万円に。親会社株主に帰属する四半期純利益も前四半期比50.7%増加の57百万円に。



レバレッジ規制開始以来の四半期業績推移

Money Partners Group

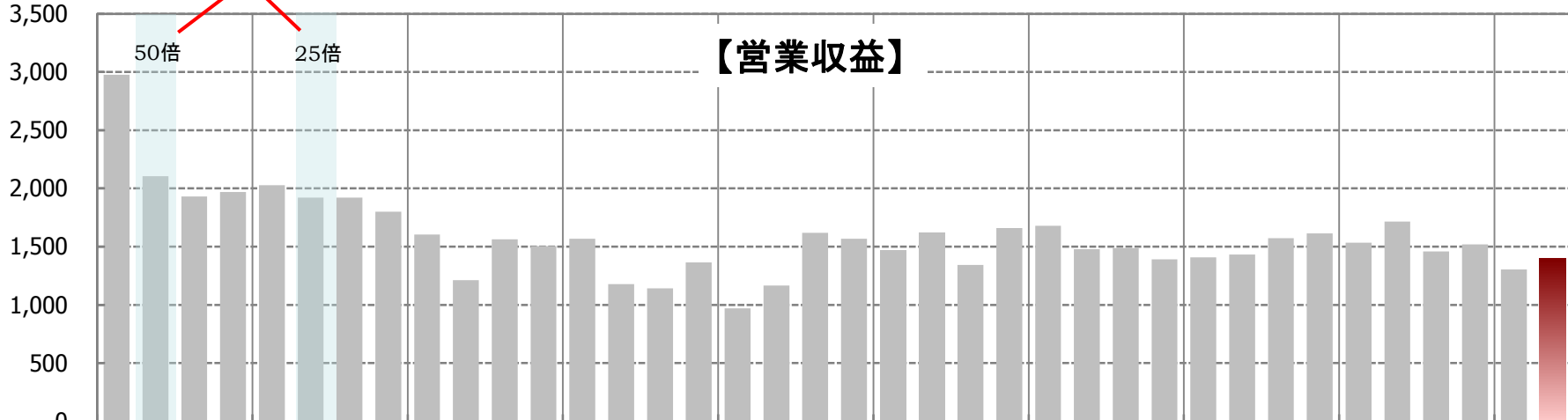
■ 営業収益と経常利益の推移

(単位:百万円)

レバレッジ規制開始

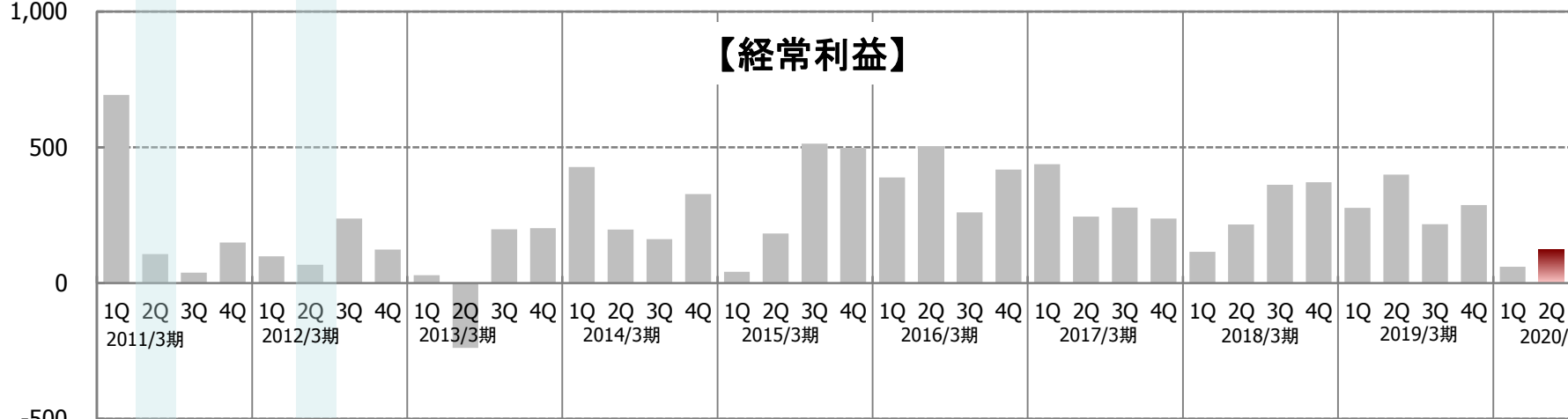
50倍 25倍

【営業収益】



(単位:百万円)

【経常利益】





2020年3月期第2四半期 決算概況と影響ファクター

	2020/3期 1Q 【2019/4 ~ 2019/6】	2020/3期 2Q 【2019/7 ~ 2019/9】	前四半期 対比増減
外国為替取引高	2,243億通貨単位	2,646億通貨単位	18.0%
営業収益	1,305百万円	1,396百万円	6.9%
純営業収益	1,178百万円	1,293百万円	9.7%
経常利益	60百万円	124百万円	107.2%

【損益影響ファクター】

前四半期比

FX取引高 

FX収益性 

販管費 

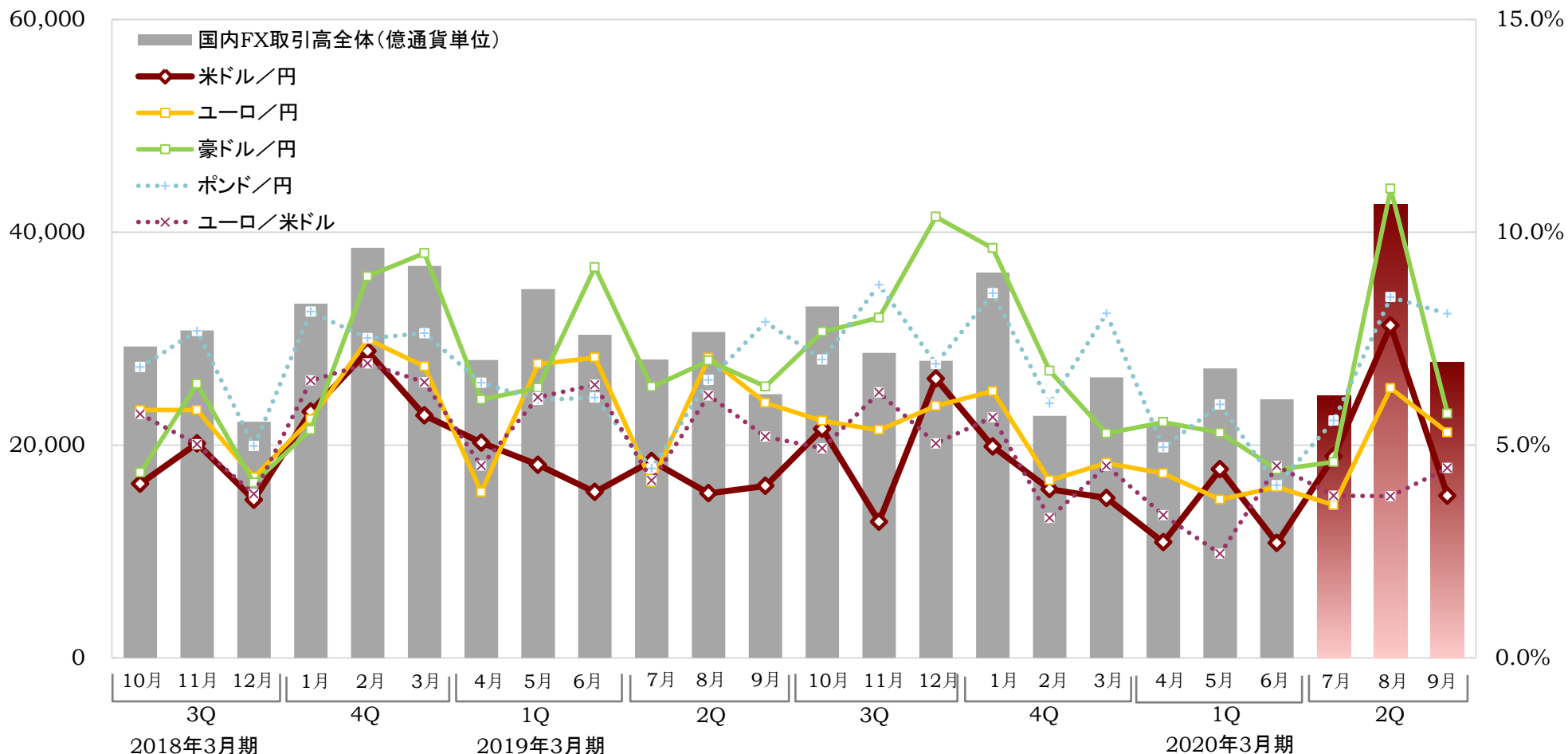
- 外国為替相場の変動率は総じて前四半期から回復。取引高は英ポンド／円が約50%増加した他概ね各通貨増加し、全体として前四半期比18%増加。通貨別の内訳は、米ドル／円は54%と横這いとなった一方、トルコリラ／円の割合が低下。
- 各通貨ペア毎の収益性は向上したものの、収益性を牽引してきたトルコリラ／円の割合が減少したこと等から、全体としての収益性は前四半期比低下。
- 取引高増加に伴う変動費の増加やコインネージ(株)連結による販管費の増加等により販管費全体は前四半期比5.5%増加。



FX市場の動向

Money Partners Group

取引高・主要通貨ペア日次平均ボラティリティの推移



外国為替市場の変動率は、8月にトランプ大統領の対中追加関税発動に関する発言や米国金利の引き下げ等により大きくドル安円高に動いたことから、前四半期から回復。この結果、四半期ベースの国内FX取引高は前四半期比約29%増加。

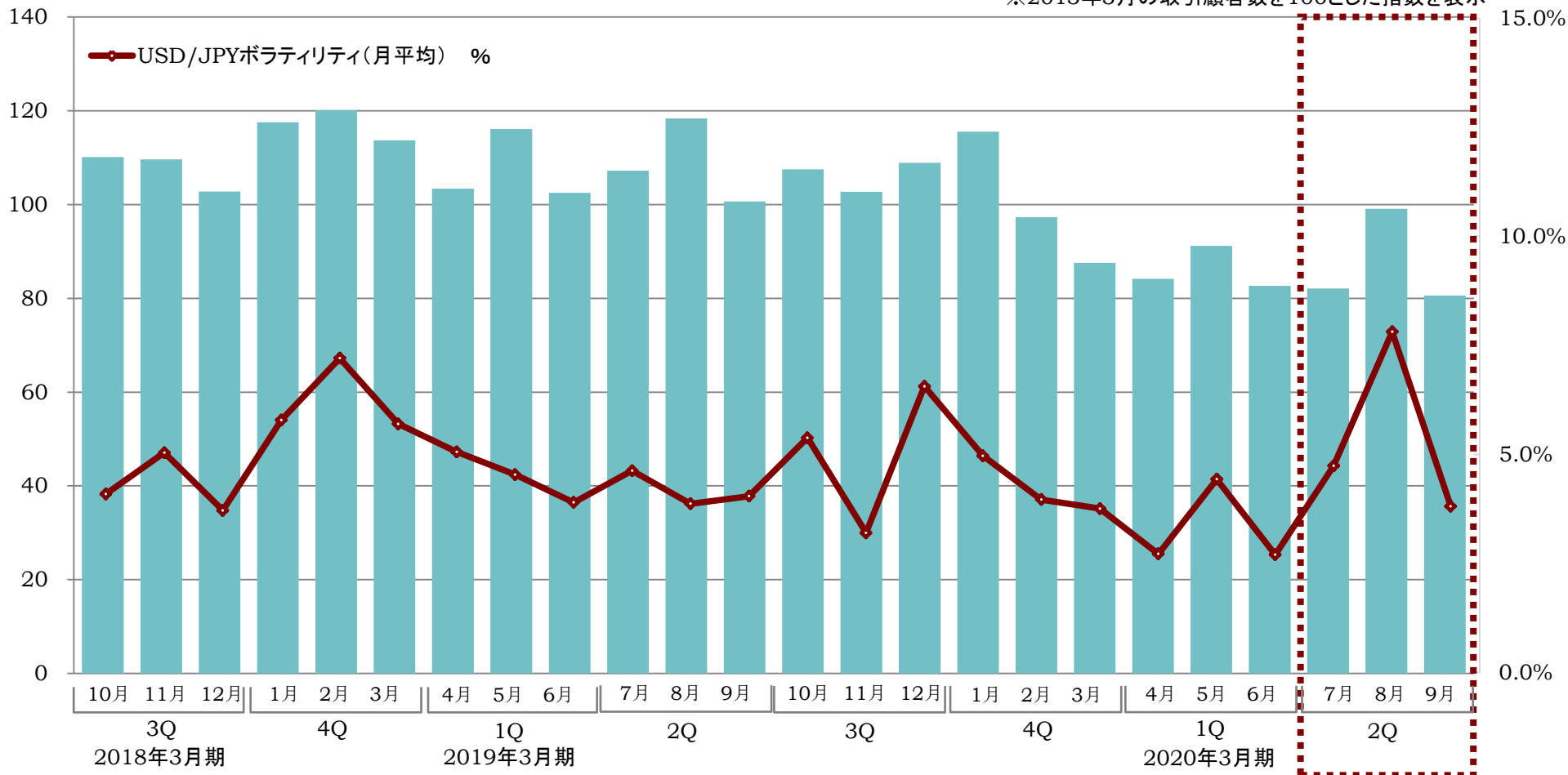


取引顧客数の推移

Money Partners Group

■ 当社FX取引顧客数(※)及び米ドル／円ボラティリティの推移

※2013年3月の取引顧客数を100とした指数を表示



外国為替相場の変動率は前四半期比持ち直したものの、米ドル／円はレンジ相場を脱するまでには至らず取引参加者数は低迷。



四半期業績推移

Money Partners Group

■ 四半期毎のP/L主要数値推移

単位:百万円

	2018/3期		2019/3期				2020/3期		前四半期 対比増減
	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	
営業収益	1,573	1,615	1,534	1,716	1,460	1,519	1,305	1,396	6.9%
受入手数料	25	28	24	24	23	21	25	25	5.4%
トレーディング損益	1,509	1,529	1,403	1,500	1,327	1,389	1,161	1,287	10.9%
金融収益	16	14	18	18	23	21	24	16	▲34.5%
その他の売上高	22	41	88	172	86	86	94	67	▲28.8%
金融費用	45	46	45	45	46	48	50	47	▲6.2%
売上原価	12	25	73	152	72	73	76	54	▲27.8%
純営業収益	1,515	1,543	1,416	1,518	1,341	1,397	1,178	1,293	9.7%
販売費・一般管理費	1,155	1,169	1,141	1,120	1,123	1,115	1,103	1,164	5.5%
営業利益	360	373	274	397	217	281	75	129	71.0%
経常利益	362	371	277	399	217	287	60	124	107.2%
税金等調整前四半期純利益	362	371	277	349	217	306	60	124	107.3%
親会社株主に帰属する四半期純利益	247	254	188	223	141	219	38	57	50.7%
営業収益経常利益率	23.1%	23.0%	18.1%	23.3%	14.9%	18.9%	4.6%	8.9%	

営業収益は、前四半期から持ち直したものの米ドル/円はレンジ相場が継続しており依然低水準に。業界内でのスプレッド競争再燃の動きもあり、今後、取引高の維持・拡大と収益性の確保・向上の両立が重要な課題に。



四半期販管費推移

Money Partners Group

■ 販管費内訳及び主要費目の推移

単位:百万円

	2018/3期		2019/3期				2020/3期		前四半期 対比増減
	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	3Q (10月~12月)	4Q (1月~3月)	1Q (4月~6月)	2Q (7月~9月)	
取引関係費	387	410	368	344	390	362	349	359	2.9%
人件費	246	244	238	242	231	238	227	274	20.3%
不動産関係費	155	157	162	165	164	172	166	165	▲0.7%
事務費	227	227	238	238	217	212	227	225	▲1.2%
減価償却費	101	88	86	91	87	87	86	93	7.4%
租税公課	28	27	22	26	21	29	20	30	51.3
貸倒引当金繰入れ	—	—	0	▲0	▲0	0	—	▲0	—
その他	8	13	24	12	10	11	23	14	▲35.8%
販売費・一般管理費合計	1,155	1,169	1,141	1,120	1,123	1,115	1,103	1,164	5.5%

(主要な費目)

広告宣伝費(※1)	141	134	126	114	160	148	142	151	6.7%
システム関連費用(※2)	327	328	335	343	320	317	317	315	▲0.6%

※1 取引関係費の一部となります。 ※2 取引関係費、不動産関係費、事務費の一部となります。

<主な増減要因(前四半期との比較)>

取引関係費(増加) : 取引高増加に伴うカバー取引関連の支払手数料増加、広告宣伝費の増加

人件費(増加) : コイネージ(株)連結に伴う増加

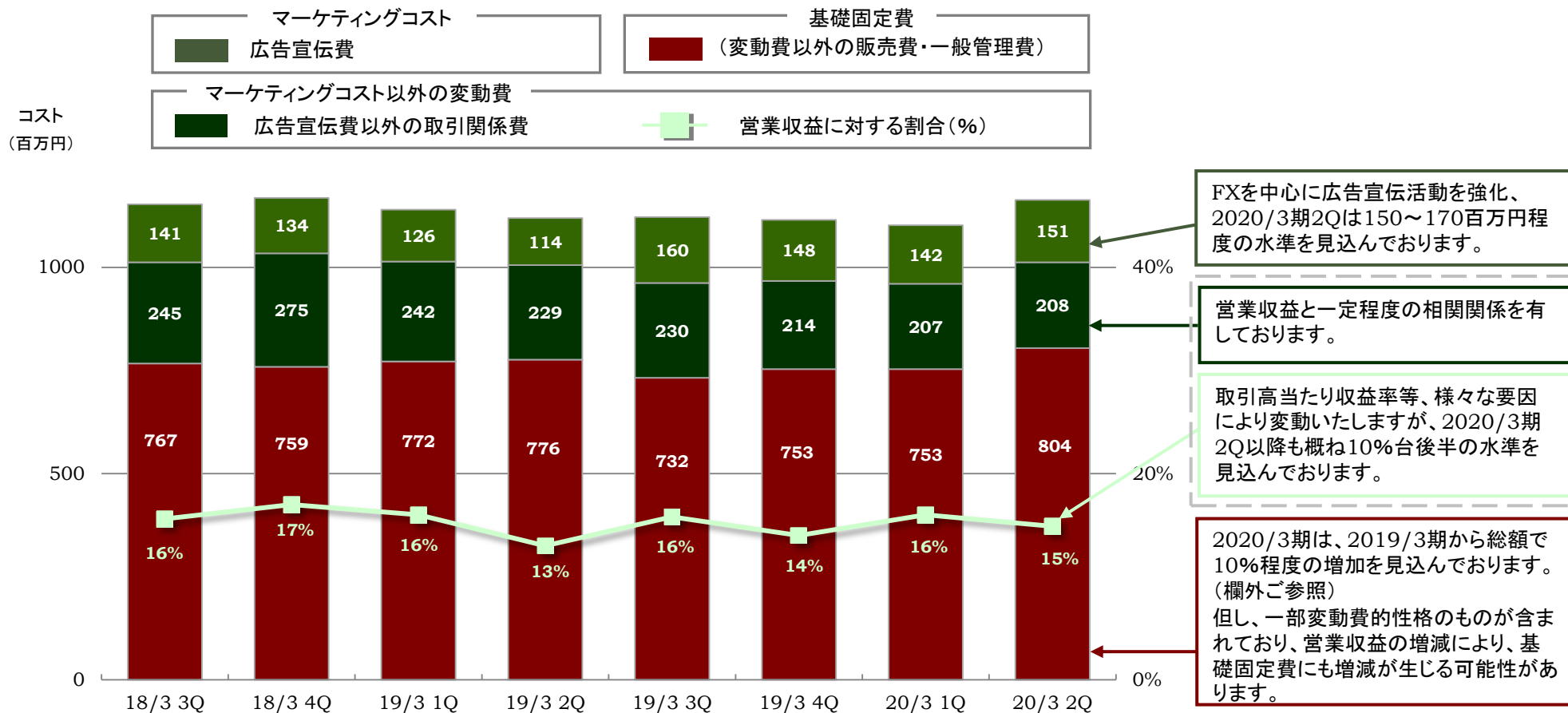
その他(減少) : 前四半期増加の反動減(定時株主総会開催関連費用)



四半期固定費・変動費推移と今後の動向

Money Partners Group

■ 主要な固定費・変動費の推移



2019年7月にコインエージ(株)を子会社化したことに伴い、2020/3期2Qは基礎固定費が増加し、その後、2020年4月(予定)の開業に向けての準備が進捗するにつれ、遡増することを見込んでおります。次期基幹システムについては、2019年10月完成し、全サービスの移行完了を11月に見込んでいることから、2020/3期3Qはシステム移行に伴う固定費の一時的増加が見込まれます。



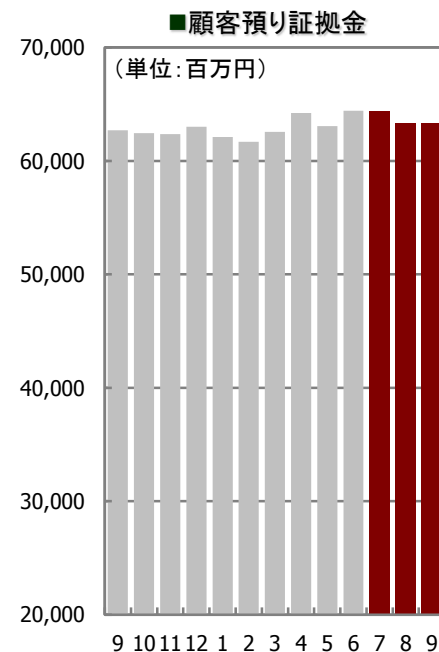
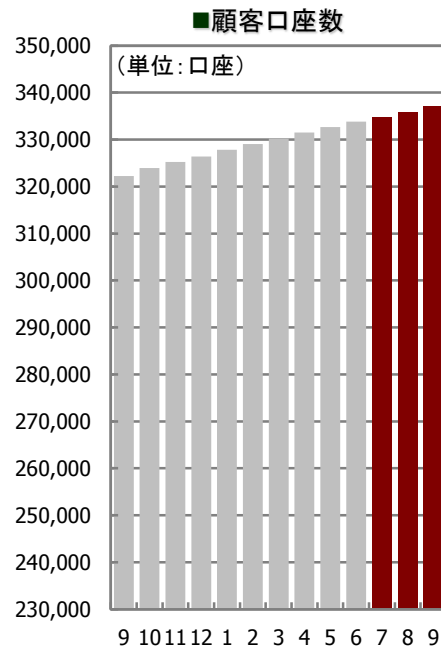
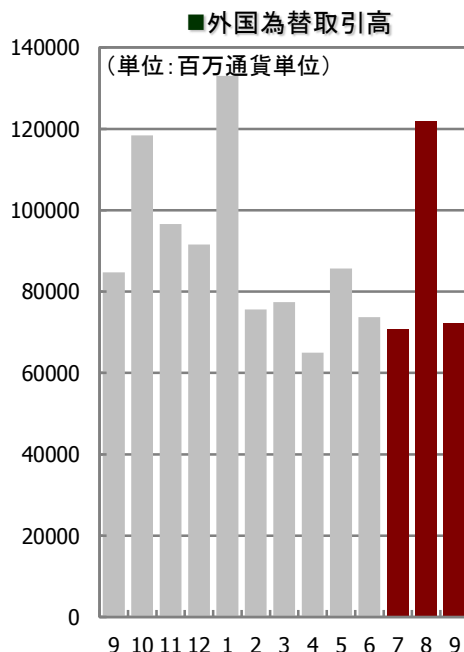
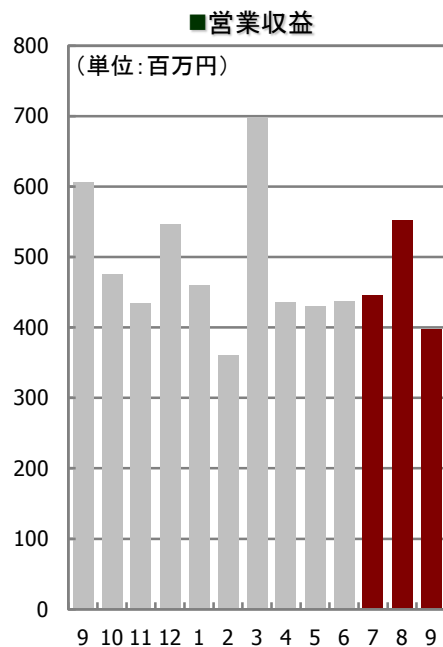
月次業績指標推移

Money Partners Group

■ 月次営業収益、外国為替取引高、顧客口座数、顧客預り証拠金の推移

	2019/3期							2020/3期					
	9月	10月	11月	12月	2019/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
営業収益(百万円)	606	476	435	547	460	360	698	436	430	438	446	552	397
外国為替取引高 (百万通貨単位)	84,706	118,371	96,598	91,536	133,017	75,614	77,410	64,962	85,708	73,679	70,709	121,698	72,241
顧客口座数(口座)	322,271	323,931	325,232	326,421	327,859	329,061	330,230	331,528	332,653	333,795	334,878	335,861	336,996
顧客預り証拠金(百万円)	62,707	62,428	62,361	63,000	62,097	61,685	62,557	64,226	63,060	64,426	64,422	63,282	63,293
内、一般顧客(BtoB以外)	57,094	57,455	57,530	57,897	57,128	56,678	57,205	57,695	58,098	58,594	58,474	59,231	58,929

※営業収益、外国為替取引高及び顧客預り証拠金には2011年8月より開始したCFDに関する数値を含めております。



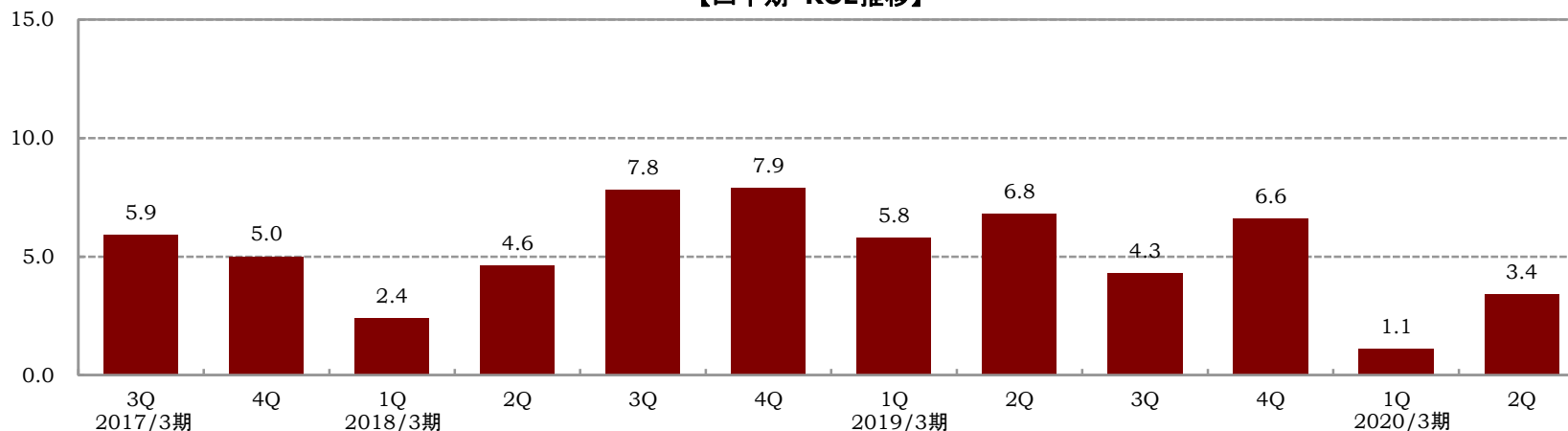


主要経営指標推移

Money Partners Group

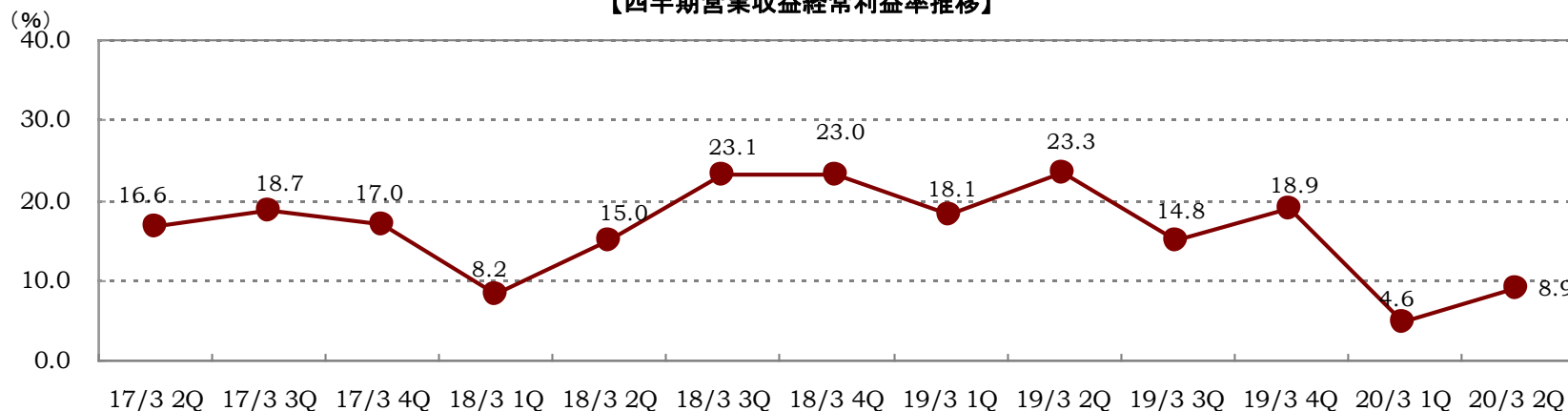
■ ROE及び営業収益経常利益率推移

【四半期 ROE推移】



※: 四半期ROEは、下記計算式により年換算して算出しております。
 $ROE(年換算) = (四半期純利益 \times 4) \div ((四半期期初自己資本 + 四半期期末自己資本) \div 2) \times 100$

【四半期営業収益経常利益率推移】



Ⅱ.2020年3月期第2四半期の重点施策の進捗状況





当社グループの重点施策

重点課題

既存ビジネス

収益力強化

顧客基盤拡大
取引機会創出

新たなビジネス・
サービスの事業化

重点施策

- 実需層の取り込みによる顧客基盤の拡大
- 収益基盤の多様化とFX収益率の更なる向上

実需

- ★ ブランディング及び実需顧客等の取り込み
- ★ カード及び外貨両替サービス利用者層の取り込み

顧客サービス

- ★ 顧客向けサービスの改善
- ★ 新注文・新サービス・新機能の提供

収益

- ★ 収益性の継続的改善



重点施策の進捗状況①

Money Partners Group

グループ全体大型投資プロジェクトの進捗

FX次期基幹システム(基幹システム全面更新)

数次の延期はあったものの、10月より順次稼働開始(切替完了は11月)

現時点で大きなトラブルもなく新システム稼働中

当初は旧システムとほぼ同等のサービスにてスタートし、今後新サービス・新機能の追加や収益性向上・コスト抑制等業績向上に寄与していく予定

暗号資産

仮想通貨交換業登録のための準備を継続中

来年4月のサービスインに向けての準備は計画通り進捗

10月コインージ(株)オフィス移転完了



重点施策の進捗状況②

Money Partners Group

外国為替相場低迷への対応

FX

投資情報の充実

提供サービス「連続予約注文」を題材に
具体的投資方法に関するアドバイスを提供

FX
— 投資家の悩み —

なかなか
よい成績
残せない

そんな悩みに応えてくれるのが

連続予約注文

システム
難しく
コスト
高し

- 01 手数料無
- 02 証拠金1分
- 03 低スプレッド

連続予約注文の活用法は

大きく分けて2つの戦略があります。

ドル円東京市場におけるここ最近の平均的な一日の変動幅は、60銭前後。動くときはその2~3倍になることも。もちろん通貨ペアによって戦略は異なりますが、ご自身のリスク許容度や相場観や狙いによって使い分けできますし両方使うのもアリ。



まとめ

じっくりたっぷり

- ✓ 時間をかけて大きな値100pipsを狙う方法
- ✓ レンジを大きく想定すかかるアツも。

投資のヒント

新たな投資戦略を取り入れるのは勇気の必要なことですが、資産運用の幅を広げたりスキルアップにも繋がる有意義なチャレンジだと思えます。ごアア紹介した連続予約注

アイデア

今回はレンジの上下で買い売り両方で仕掛ける例をご紹介しましたが、もちろん「〇〇円まで下がれば買い」のみで仕掛けるというのでも良いです。アアは本誌み改策ア

4つのポイント

「約り場に毎日入場料を払って仕掛けを重らし、さて今日はどれだけ獲れたかな？」というお話をしましたが、この戦略は「入場料をいくら払うか(編印のライン)」「仕

驚きの低スプレッド!!

取引手数料0円!!

連続予約注文

スマホから注文可能!

レンジ相場に強い!

注文状況をメール配信!



連続予約注文 **利益率ランキング**

どの通貨ペアでどのくらいのお利食い(値幅(pips))で連続予約注文を発注していたら、いくらの利益があったのか? そんな疑問にお答えするため、実際にお取引いただいた連続予約注文をもとに先週1週間の実現利益率をランキング形式にまと

PFX

nano

キャンペーン
延長決定!
12/31
まで!

コツコツ取引して **賞金ゲット!!**

連続予約注文

キャンペーン

2	GBP/USD(ポンド/米ドル)	2	50	10,000	56,000	17.9%	100
3	GBP/JPY(ポンド/円)	2	50	10,000	56,000	17.9%	100
4	EUR/GBP(ユーロ/ポンド)	2	30	6,000	50,000	12.0%	60
5	EUR/USD(ユーロ/米ドル)	6	10	6,000	50,000	12.0%	60
6	GBP/JPY(ポンド/円)	2	30	6,000	56,000	10.7%	60



重点施策の進捗状況③

Money Partners Group

外国為替相場低迷への対応

FX

相場情報の充実

各国経済動向やイベントを解説するセミナーを積極的に実施

The collage features several seminar cards with the following details:

- 今さら聞けないブレグジット 2019** (開催日: 2019年08月29日)
 - 講師: 森永 康平(株式会社マネネCEO / 経済アナリスト)
 - 内容: ブレグジットとは? これまでの経緯を学ぶ、これから起こることは?、足元の英国の経済、質疑応答(参加者の質問に講師が答えます) ...など
- 政策金利引き下げの影響は! ? 豪ドルトレード戦略解説セミナー** (開催日: 2019年06月18日)
 - 講師: YEN蔵(田代 岳)(株式会社ADVANCE代表取締役)
- 豪ドルの特徴をつかむ! 豪ドル 攻略ショートセミナー** (開催日: 2019年09月11日)
 - 講師: YEN蔵(田代 岳)(株式会社ADVANCE代表取締役)
 - 内容: 豪ドルについて、値動きの特徴や変動要因、経済情勢など、取引する上で知っておきたい情報を約20分の動画にまとめました。短時間で豪ドルについて学べる充実したセミナーとなっておりますので是非ご視聴いただき、お取引の一助としていただければ幸いです。
- 豪9月政策金利 リアルタイムセミナー** (開催日: 2019年09月24日)
 - 講師: YEN蔵(田代 岳)(株式会社ADVANCE代表取締役)
 - 内容: RBAの動向を振り返る・金利発表後のコメントは...?・質疑応答(参加者の質問に講師が答えます) ...など
- 最新オーストラリア経済分析 ~豪ドルの行方は?~** (開催日: 2019年05月21日)
 - 講師: 森永 康平(株式会社マネネCEO / 経済アナリスト)
 - 内容: 豪ドルの動きの背景にあるものは?、オーストラリア経済指標の分析・解説、質疑応答(参加者の質問に講師が答えます) ...など
- [米・日・南ア]政策金利解説セミナー** (開催日: 2019年09月18日)
 - 講師: YEN蔵(田代 岳)(株式会社ADVANCE代表取締役)
 - 内容: 米金利、連利下げの可能性は?、日銀、南ア中銀の金融政策はどうなる?、今後の相場展望について、質疑応答(参加者の質問に講師が答えます) ...など
- メキシコペソトレード戦略解説セミナー** (開催日: 2019年09月11日)
 - 講師: 広瀬 隆雄(コンテクスチュアル・インベストメンツLLC)
 - 内容: メキシコ経済の基礎的要件を再点検、メキシコペソのトレード戦略、質疑応答(参加者の質問に講師が答えます) ...など
- トルコ動向解説セミナー**
 - 講師: 広瀬 隆雄(コンテクスチュアル・インベストメンツLLC)
 - 内容: トルコ中銀の利下げについて、トルコリラのトレード戦略、質疑応答(参加者の質問に講師が答えます) ...など
- 発表直前! FOMC徹底解説セミナー**
 - 講師: YEN蔵(田代 岳)(株式会社ADVANCE代表取締役)
 - 内容: 米金利、利下げ期待復活...?、今後の相場展望について、質疑応答(参加者の質問に講師が答えます) ...など
- イベントライブ実況 ECB理事会&ドラギ総裁会見**
 - 講師: YEN蔵(田代 岳)(株式会社ADVANCE代表取締役)
 - 内容: 現状の欧州やユーロを取り巻く環境を振り返る・政策金利発表の結果は?・ドラギの発言 ...など



重点施策の進捗状況④

Money Partners Group

マネパカードの利用拡大による採算改善

マネパカード

「ご家族入金サービス」

主に海外留学での利用にあたり、複数のご家族名義からの振込を入金可能とする事前登録を受付け開始

サービス開始5周年を迎えるにあたり カード券面のデザインを変更しました



留学中の追加入金も安心《ご家族入金サービス》



留学やホームステイ等、カード会員ご本人様が海外滞在中のためご本人名義での入金が困難な場合は、《ご家族入金サービス》にてご家族(父母)の名義からのご入金もお受けしております。

- ・ご家族入金サービスは、カード会員のご両親(父母)のみご登録いただけます。
- ・ご家族入金サービスをご利用の場合は、事前に会員専用サイトからご両親(振込人となる方)のお名前、続柄、生年月日、ご住所、本人確認書類をご登録いただく必要があります。
- ・外国籍の方は、ご家族入金サービスをご利用いただけません。

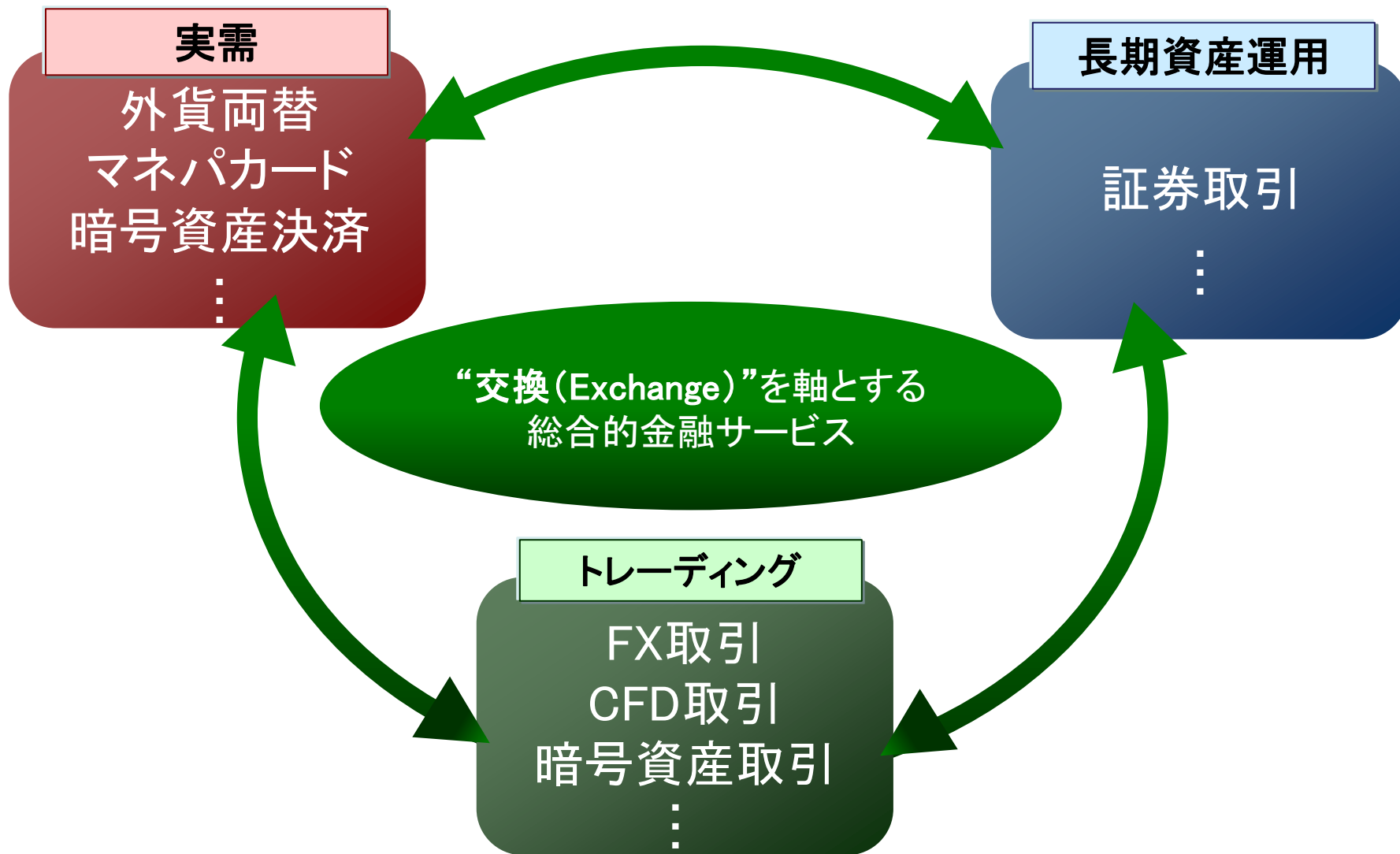
ご家族(ご本人様以外の振込人となる方)の登録方法

操作の前に、振込人となる方の本人確認書類をご用意ください。

1. 会員専用サイトにログインし、上部メニューから、「お客様情報／各種設定」>「お客様情報」を選択します。
2. ページ下部の「振込人情報」欄より「振込人1を登録する」をクリックし、氏名、フリガナ、続柄、生年月日、住所、本人確認書類を登録してください。
3. 所定の審査の後、数日～1週間ほどで振込人登録が完了いたします。

Ⅲ. 今後の目指すべき方向性





IV. 当社の経営目標及び株主還元について





ROE及び営業収益経常利益率の向上

- 当社は、企業価値の最大化のため自己資本を効率的に活用することを重視しております。
- このために効率的な収益構造の実現を目指して参ります。
- 効率性を計る尺度として、自己資本利益率(ROE)及び営業収益経常利益率を重要な経営指標として位置づけております。

▶ **2020年3月期第2四半期(2019年7~9月)のROEは3.4%**

※: 四半期ROEは、下記計算式により年換算して算出しております。

ROE(年換算) = (四半期純利益 × 4) ÷ ((四半期期首自己資本 + 四半期期末自己資本) ÷ 2) × 100

▶ **2020年3月期第2四半期(2019年7~9月)の営業収益経常利益率は8.9%**



株主還元について

Money Partners Group

業績向上に取り組み、株主利益の向上に努める

配当方針

配当性向 … 連結当期純利益の**30%**を目処

配当機会 … **中間及び期末**（年2回）

	2019年3月期				2020年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
当期純利益(百万円)	188	223	141	219	38	57		
上段: 3ヶ月	188	441	553	772	38	95		
下段: 累計								
配当金の総額 (百万円)	114		146		65			
期末発行済 株式総数(株)	33,801,900 (内、自己株式1,202,300)		33,801,900 (内、自己株式1,202,300)		33,801,900 (内、自己株式1,202,300)			
1株当たり 配当金	中間・期末	3.5円		4.5円		2.0円		未定
	年間	8.0円				未定		

※ 当期は、コインージ(株)子会社化に対応し、配当性向に使用する連結当期純利益に、同社の開業までのコストを除外した数値を用いる方針
(安定配当実施の観点から、コインージ(株)子会社化に伴う減配要素を排除する趣旨)



取扱い商品に係るリスク及び手数料等について

パートナーズFX、パートナーズFXnanoおよびCFD-Metalsは、取引時の価格またはスワップポイントの変動、およびスワップポイントは支払いとなる場合があることにより、売付時の清算金額が買付時の清算金額を下回る可能性があるため、損失が生じるおそれがあります。また、証拠金の額以上の投資が可能のため、その損失の額が証拠金の額を上回るおそれがあります。売付価格と買付価格とには差額(スプレッド)があります。

取引手数料は無料です。ただしパートナーズFXおよびパートナーズFXnanoの受渡取引に限り、1通貨単位あたり0.10円の手数料をいただきます。

パートナーズFXおよびパートナーズFXnanoの取引に必要な証拠金は、取引の額の4%以上の額で、証拠金の約25倍までの取引が可能です。法人コースの証拠金は、為替リスクを想定し通貨ペアごとに当社が定める額と、金融先物取引業協会が算出した通貨ペアごとの為替リスク想定比率を取引の額に乗じて得た額のうちのいずれか大きい額とします。為替リスク想定比率とは、金融商品取引業等に関する内閣府令第117条第27項第1号に規定される定量的計算モデルを用い算出します。CFD-Metalsの取引に必要な証拠金は、取引の額の5%以上の額で、証拠金の約20倍までの取引が可能です。

国内上場有価証券の売買等に当たっては、最大で約定代金の2.75%の手数料(消費税込み)、最低手数料は取引形態等により異なり最大で2,750円(消費税込み)をいただきます。国内上場有価証券等は、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の価格の変動等および有価証券の発行者等の信用状況(財務・経営状況を含む)の悪化等それらに関する外部評価の変化等を直接の原因として損失が生ずるおそれ(元本欠損リスク)があります。

取引開始にあたっては契約締結前書面を熟読、ご理解いただいた上で、ご自身の判断にてお願い致します。

〈商号〉株式会社マネーパートナーズ(金融商品取引業者・商品先物取引業者)

〈金融商品取引業の登録番号〉関東財務局長(金商)第2028号

〈加入協会〉日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会 日本商品先物取引協会

2020年3月期第2四半期 決算説明会



Money Partners Group

株式会社マネーパートナーズグループ